



お願い：後日開催予定の新安否確認システム住民説明会の際には、本号をご持参ください

災害発生時の安否確認システムを改定します

～今以上の迅速確実な安否確認を目的に～

災害が発生した際には的確な救援救助をおこない、被害を最小限に抑えることが求められます。そのためには、安否確認の迅速性と確実性が求められます。衣川台ではグループ単位で安否確認をおこなうシステムを構築し運用してきました。

しかし、住民の高齢化進捗などの現状に即して、安否確認システムを改めることが必要との考えから、前号の『なまず通信』で既報のとおり、自主防災部の役員で検討を進めてきました。

今号では、改定に至った経緯や新システムの内容をお知らせします。

従来のグループ単位では十分な機能が発揮できないことが懸念されます

衣川台の全世帯をグループ分けして、それぞれにリーダーを選任し、災害発生時にはそれを基本に安否確認するシステムで運用してきました。これは、「向こう3軒両隣り」のお互いが安否確認をすることで、より迅速な救援活動がおこなえるとの趣旨です。

しかし、グループリーダーを担う方がおられないため、やむを得ず合併してグループの単位世帯数が増えたり、リーダーが不在のグループまで生じてきています。これでは、迅速確実な安否確認ができない恐れがあります。

今後、高齢化が進むことなどにより、現行のグループ単位での安否確認システムではさらに問題が多くなることが懸念されます。

共助単位は「向こう3軒両隣り」の意識をより強固にしたものへ変更

「共助単位」を安否確認シート名簿の連続した3世帯～5世帯とし、組全体が共助でつながるようにします。「共助単位」には、従来のリーダー的な責任者は置きません。

各世帯のみなさんは、名簿に基づいてお互いに安否を確認して頂きます。新しい「共助単位」は、安否確認シート（見本参照）に書かれた世帯名簿順で自世帯の上側2軒、下側2軒の3～5世帯（自世帯含む）とします。

従って、本来の「向こう3軒両隣り」の意識がより強固になり、確認漏れを防ぐことができます。

〔新たな「共助単位」による安否確認方法〕

新安否確認シートによる安否確認方法は次のとおりです。

（次ページのシート見本をご参照ください）

- * Aさんは下側2軒（B・Cさん）の安否確認＝共助単位3軒
- * Bさんは上側1軒と下側2軒（A、C・Dさん）の安否確認＝共助単位4軒
- * Cさんは上側2軒と下側2軒（A・B、D・Eさん）の安否確認＝共助単位5軒
- * Mさんは上側2軒（K・Lさん）の安否確認＝共助単位3軒

安否確認の方法等の詳細は安否確認シートに記載しますので、ご確認ください。

【安否確認シート見本(説明用のためシート一部の記載省略)】

安否確認シート

施行日：2022年xx月xx日 自主防災部

震度5弱以上の地震に備え、いつでも使えるよう大切に保管してください。

X 組 組長 : ○○ ○○ 報告者

前年度組長 : □□ □□ 氏名

名簿作成日：2022年xx月xx日

世帯名	要援護者世帯		安否確認結果(災害時・訓練時記入)						
	要援護者 人数	避難時 支援方法	安否確認 (√)	応答無 (○)	けが 人数	火災 発生	近隣支援 実施(○)	本部救援 要請(○)	備考
A									
B									
C									
D	1	①							
E	1	①							
G									
H									
I									
J	1	①							
K									
L									
M									
合計 ⇒									

<注> 要援護者の避難時支援方法 ①手を引く ②肩を貸す ③二人で肩を貸す ④おんぶ
⑤車椅子(自身で用意) ⑥リヤカー・二輪車 ⑦担架

安否確認迅速化のための新しい施策

～各世帯に 黄色い「安全確認旗」を貸与し 迅速な安否確認の一助として活用～

「共助単位」に属する各世帯は、まず身の安全を確保し、世帯内在宅者が無事であれば黄色い「安全確認旗」(以下、「安全確認旗」)を掲示してください。次に「共助単位」で相互に安否確認をしてください。「安全確認旗」が掲示されていない世帯があれば、呼びかけをして安否確認を確実にこなしてください。

「組長」「前年度組長」「組長補助者」の皆さんは、内1名は組長さん宅前に待機した上、協力して組内を回り「安全確認旗」が掲示されている世帯を確認します。また、「安全確認旗」が掲示されていない世帯があれば



近隣住民とともに声かけをして安否を確認してください。 声かけしても応答がない場合は、安否確認シートの「応答無」欄に○を記入してください。 火災やけが人が発生していれば、近隣住民に呼びかけして救援を促し、必要であれば対策本部に緊急連絡してください。

組長さんは各世帯の安否の情報、救助の必要性、出火の有無といった安否確認結果を安否確認シートに記入し、速やかに対策本部に提出してください。 また、周辺道路等の被害状況を第二報として把握し、本部の自主防災部情報班長へ連絡してください。

※安否確認情報連絡ルートは次の表のとおりです。

※組長補助者とは、組長の近隣住民で組長から補助を頼まれた方、自主防災部の初動要員として各組に派遣された部員です。

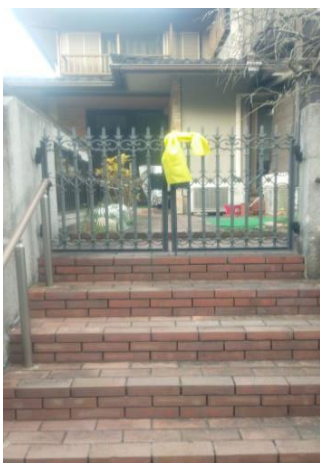
◎災害発生時には 組長さんなどのサポートをお願いします！

安否確認情報の連絡ルート(基本ルート)		
情報	情報の集約・連絡者	安否確認要領
世帯情報	世帯代表者	安全確認旗掲示（各世帯）
↓	↓	↓
(共助単位)	(共助単位)	共助単位内で相互確認
↓	↓	↓
組情報	組長（補助者）	組長（補助者）が集約・報告
↓	↓	↓
全体情報	対策本部/情報班	全体集約・対策本部内報告

共助単位：安否確認シートの名簿順で、自世帯の上下各2世帯を共助単位とする。
 補助者：前年度組長、組長の近隣住民で組長から補助を頼まれた方、自主防災部の初動要員として各組に派遣された部員。

【安全確認旗について】

道路側から よく見える場所 に掲示を！



今年4月に各世帯に安全確認旗を配布します。災害発生時に、自宅の安全確認ができれば、道路側からよく見える玄関付近や窓などにこの旗をくくりつけてください（写真は掲示例です）。

旗を掲示して頂く目安時間は24時間です。

※安全確認旗は、いつでも取り出せるよう、安否確認シートと一緒に保管ください。

なお、旗は貸与ですから、引っ越しで衣川台から転出される場合は組長さん経由で自主防災部に返却ください。

【新安否確認システムは第1回防災訓練時から施行】

防災訓練に参加し新システムを体験してみましょう！

新安否確認システム改定案は、今年の第1回防災訓練実施時期（2022年6月予定）から施行します（訓練が中止や延期となった場合でも、当初の訓練予定日付で施行）。

この訓練では、強い地震が発生したとの想定で、安否確認訓練をおこないます。皆さんに新システムを理解して頂く絶好の機会です。積極的なご参加をお待ちしています！

新安否確認システムでも「震度5弱以上の地震」では安否確認を！

地震の揺れが「震度5弱以上」だった場合は、助けを求めている人のいることが考えられます。新安否確認システム移行後も、従来と同じく「震度5弱以上の地震」が発生した際、自分自身や家族の安全確保をした後は、ただちに「安全確認旗」を道路側からよく見える場所に掲示し、共助単位の皆さんお互いが安否確認をおこなってください。

衣川台自主防災部では、震度5弱以上の地震発生の場合は、対策本部を設置します。

※地震の震度は、NHK等が放送する地震速報、大津市防災メール等で通知される「大津市の震度」とします。

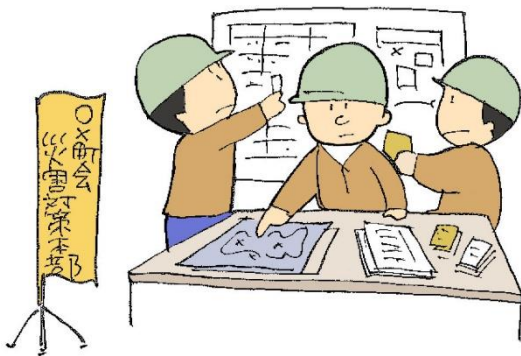
◆『大津市防災メール』受信の設定方法（携帯電話やスマートフォン対応）

「5520bou@wbi.jp」宛に空メールを送信（登録完了メールが届きます）

★この方法以外にも設定ができます。詳しくは『大津市ホームページ』をご覧ください。

◆『大津市防災ナビ』の設定方法（スマートフォン対応アプリケーション）

iPhone（iOS 端末）は AppStore で、Android 端末は Google Play で『大津市防災ナビ』と検索してアプリケーションをインストールしてください（無料）。



自主防災部活動員募集中！！



活動員を募集しています。衣川台の安全・安心のために防災部活動班に参加しましょう！

皆様のご応募をお待ちしています。

自治会員外の方でも受け付けています。

<事務局長 堀内 ☎ 080-4246-8508 迄>